

令和5年度「ベストプラクティス企業」との対談

～（株）岡野組での取組みについて～

過重労働解消キャンペーンの一環として、令和5年11月15日、京都労働局長（局長：赤松俊彦）が、長時間労働の削減に積極的に取り組む「ベストプラクティス企業」として「（株）岡野組」の取締役会長岡野益巳様、代表取締役岡野真之様と対談しました。

ベストプラクティス企業の職場訪問とは、都道府県労働局長が長時間労働削減に向けた積極的な取組みを行っている企業を訪問し、取組事例を紹介することで、地域全体の過重労働解消等に向けた気運の醸成を図ることを目的としています。

今回は、京都建設業会館において、建設業にスポットを当て、全国建設産業団体連合会会長でもある岡野会長から建設業界における「働き方改革」にかかる取組みについて、岡野社長から（株）岡野組における「働き方改革」にかかる取組みについて、お話を伺いました。



企業概要

- 企業名 株式会社岡野組
- 所在地 京都市左京区岡崎円勝寺町85番地の4
- 創業 慶応元年（1865年）
- 会社設立 昭和27年（1952年）
- 代表者 代表取締役 岡野真之
- 職員数 79名（令和5年11月21日現在）
- 事業内容 総合工事業



株式会社 岡野組

建設業における「働き方改革」への取組みについて

岡野会長から

- 建設業は国民生活に必要不可欠
 - 人を大切にする経営が求められる
- とのお話があり、建設業界における「働き方改革」の実現については、

- 第一に処遇の改善が必要
- 次に生産性の向上が必要

とした上で、「建設キャリアアップシステム」「建設業退職金共済制度」「働き方改革検討委員会の設置」等の取組について説明があり、「安定的な受注確保」について行政の協力を願いたいとのお話がありました。

さらに、岡野会長は

- 会社の目標と労働者の目標の合致が大切
- 建設業は社会に貢献している
- 建設業は最高の仕事

との熱い思いも語られました。



右奥から岡野益巳取締役会長、岡野真之代表取締役
左奥から赤松俊彦京都労働局長、近畿地方整備局田中春唯技術調査課長



厚生労働省京都労働局

(株) 岡野組における働き方改革への取組みについて

岡野社長から、

「社内における『働き方改革』は思うように進んでいない」としながらも、(株) 岡野組における取組みについて

- ・ 業務簡素化を目指し社員へのスマートフォンの支給
- ・ 現場作業をサポートする女性現場事務員の積極的採用
- ・ 週休二日制の実践とそれが可能な工期での受注
- ・ 労働者個々の能力向上への取組

などの様々な取組みについてお話がありました。

また、「自分」「相手」「第三者」がともよくなる『三方よし』の企業理念についてお話があったのちに、その一環としての協力会社に対する、建設キャリアアップシステムの導入や安全推進協力会における研修会の開催などの取組みについてのお話もありました。

さらに、岡野社長は、「まずは、自分の意識改革が必要」としたうえで、「時間をかけてではあるが(社員の)意識が変わってきた」「今後も引き続き長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得促進を進めたい」と述べられました。

労働局・労働基準監督署について、「取り締まりをするだけでなく、『支援』も行ってくれている役所である」「『支援』していることをもっとPRしてほしい」「そして(働き方改革の推進には)国民全体の理解が必要であることを周知してほしい」との、労働行政に対するご意見をいただきました。



(株) 岡野組の職員さんとの意見交換 ほか



【意見交換を行う職員と局長】

(株) 岡野組の職員を代表して総務部次長の溝口様との意見交換が行われました。溝口様から、会社における働き方改革の取組みについて、「上司が休みに配慮してくれるようになったという若手社員の声が増えた」との感想があったほか、「会社の人からいろいろなことに誘われている」「オフの関係を生かした仕事ができている」としたうえで、「現場の負担が減ることを考えたい。そういう人になりたい」との思いが述べられました。この溝口様の思いについて岡野社長から「心強い!」との声がありました。

対談の最後に、国土交通省近畿地方整備局企画部技術調整課長の田中春唯様から、「国土交通省における働き方改革の推進」について説明があり、週休2日モデル工事の件数拡大や時間外労働上限規制にかかる地方公共団体や民間発注者への働きかけ・周知等の取組みについて紹介がありました。

対談を終えて

建設業における働き方改革の推進には、建設会社における意識改革が必要不可欠ですが、建設会社の努力だけでは進まない課題もあり、国民全体での理解を深める必要があります。今回の対談は、その点での認識の共有がはかれた大変有意義な対談となりました。

また、対談中に岡野社長が述べられた、企業理念『三方よし』は強く印象に残る言葉でした。株式会社岡野組様の今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

